

日本赤十字社は、社会的な支援を必要とする方々が個人の尊厳を持って、その人らしい自立した生活を送れること、また、誰もが安心して元気に生活できる社会を目指して、全国でさまざまな社会福祉事業を行っています。

その中で保険・医療・看護・福祉を展開する都市型モデルとしての「総合医療福祉サービス」の拠点として、日本赤十字社総合福祉センターは 2012 年 4 月に開所しました。



開所以来、デイサービス・通所リハビリテーションといった在宅サービスからグループホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホームが同一建物内にある利点を生かし、ご利用者様が住み慣れた地域で、顔馴染みの方と過ごせる環境づくりを目指してきました。また、同一敷地内にある日本赤十字社医療センターとも連携しながら、ご利用者様が安心して生活できる居場所を提供してきました。



この度、介護老人保健施設レクロス広尾 通所リハビリテーション事業所が渋谷区優良事業所として表彰されました。

通所リハビリテーション事業においては、曜日だけでなく提供時間やプログラム内容も利用者の皆様に選んでいただいたうえで「利用者一人一人に合ったリハビリ」を提供しながら、目標達成を目指しています。マシンやレッドコードを使ったトレーニングはもちろん、様々な活動や生活リハビリを取り入れたり、広い敷地を利用した屋外での歩行訓練、または社会科見学と銘打った近場の施設に出かけての歩行訓練などを実施し、利用者の皆様が楽しみながらリハビリが継続できる工夫も行っています。

また、介護予防への取り組みとして、通所型サービスCの提供も行っています。現在まで4期実施し、卒業後も顔馴染みのメンバーでフレイル予防に取り組むための通いの場となっています。

今後も、通所リハビリとしての身体機能維持・改善を目的としたプログラムの提供と合わせて、元気な高齢者が生き生きと暮らせるお手伝いを行っていきます。

